

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。
 ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・経営トップ、人事が共通理解のもとに雇用条件で差別を行わない体制を構築している。					○			○		○						○	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・様々なハラスメントに対して共通認識を持つ機会を設けている。 ・ハラスメント相談担当者を設けている。					○			○								○	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・残業時間の確認と残業務の進捗状況を各部署が相互理解をすることで過度な労働を抑える体制を設けている。								○									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・各社員に差別、人権侵害の共通認識を持つ機会を設けている。				○			○		○								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・朝礼での安全確認に加え、作業前の安全確認を徹底させる体制を設けている。			○					○									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・過労労働、人権侵害の対策を設けることで労働環境の常時改善を実施している。		○															
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・雇用条件に差別を行わない体制を構築することで多様性のある社内体制を構築し、新技術を導入することで多様な人材を十分に活躍できる社内環境を設けている。				○		○		○									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・社員に過労労働を課さないことで生産性の向上、社内環境の活性化に取り組んでいる。			○					○									
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・様々な外部研修に対しての補助、その後のフィードバックを徹底させる事で教育訓練の機会を提供している。				○			○		○								
	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・会社と社員とで労働契約法の共通認識を持つことで、労働原則に沿った対応を行っている。								○		○							
	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・紙資源の分別廃棄、ブルタブ、ペットボトルキャップ 分別回収、分別廃棄を徹底することで、管理を適切に行っている。										○	○	○	○				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・省エネ診断に伴い、屋根材改修、足元暖房、クールビズの徹底を利用してエネルギー利用の効率化を推進している。							○					○					

13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・灯油使用量、ガソリン購買量等を確認することで温室効果ガス排出の概算量を把握し、多様性のあるエネルギー使用機材を導入することで削減を進めている。						○				○	○				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令で定められた有害性化学物質を把握し、新技術を導入した機材を購入することで使用量の削減を進めている。		○			○				○	○					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・生態系維持のため有機素材で作成された資材等を積極的に導入することで環境に配慮した作業を進めている。					○								○		
16 環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・水資源を適切に管理するために浄化槽から下水へ移行するなど積極的に改善している。					○										
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・社内規則の中で環境マネジメントシステムを導入している		○			○	○					○	○	○		
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・HPに古紙再生、河川清掃、社外清掃、等に取り組んでいることを開示している。											○				
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	【予定】再生可能エネルギー設備の設置利用					○							○			
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・社内備品の一部に再生紙を使用したものを積極的に利用している。											○	○	○		
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・裏紙使用によるごみの量の減少、ごみの分別によるリサイクルの推進を行っている。					○						○	○	○		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職・贈収賄禁止に対して共通認識を持つ機会を設けている。														○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・不正競争行為に関与しない方針に対して共通認識を持つ機会を設けている。														○	
24 公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・知的財産権を保護するように社内で研修を行う機会を設けている。						○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・社内全体で個人情報の取り扱いについての研修を行う機会を設けている。														○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	【非該当】 ・材料から製品を生み出す業務ではないため、特別な社内規定はない。 製品購入時に作製メーカーの信頼要素の確認は行っている。														○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	・取引先と提携時に確認を怠らないよう社内整備を行っている。					○		○	○	○	○	○	○	○	○	
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・ISO9001を基にしたリスク管理を行っている。		○										○			
29 製品・サービス	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・ISO9001を基にした品質管理を行っている。										○					
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・エコマーク認定商品の使用、分別できる製品の使用を促進している。					○						○	○	○		
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・地域貢献に伴う製品・サービスを提供することで社会課題を解決する製品を提供している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・製品を提供することによる事業地域との対話に積極的に参加している。			○					○		○	○	○	○	○	

【その他独自に行っている取組】